

S A・ネット大阪ニュース 第8号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <http://sanetosaka.hp.infoseek.co.jp>

〒560-0083 豊中市新千里西町2丁目1-1-1408 TEL・FAX 06-6836-5568

第5期（平成22年度）がスタートしました

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪
理事長 永田 得祐



平成22年5月29日（土）大阪府社会福祉会館にて、第4期定時総会と記念講演会を無事に終えることが出来ました。日頃の会員の皆様のご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げます。

1. 21年度の事業概況報告

21年度は、S A ネット全体としては、収入合計、当期収支差額共にほぼ前年並みを確保出来、成長は果たせなかったが、堅実経営は実現出来たと考えています。また、高齢者大学の講座運営と諸行事へも積極参加協力いたしました。

大阪府との協働についても、「アクティブシニアフェア2009」の企画と実施に参加協力しました。また、22年3月に八尾市高齢クラブとの共催で「アクティブシニア出前講座」も実施いたしました。

広報活動については、広報誌「S A ネット大阪ニュース」を年3回発行し、HPも事業実施結果報告に加えて事業イベントの実施予定の案内PRに重点配慮することに努めました。

今後の課題としては、下記2点が考えられます。

- ①理事を始め事業推進リーダーの高齢化と現状維持の事業経営。
- ②新規事業の企画と人材の確保が急務。

2. 22年度の重点事業目標

S A ネットの重点課題は、企画力を高め「魅力あるイベント」の実施と新規事業の企画・開発です。

その対策として、本年度「企画部」を新設し、奥谷新理事に担当して頂きます。各事業をまたがる新規事業企画を「企画部」でプロジェクト（以下PJ）としてまとめ、各PJごとにリーダーを選び実行員会を立ち上げたいと考えています。そしてイベントやPJの企画と実施を通じて広くS A 講座修了者にこだわることなく新しい会員・仲間を増やしてゆきたいと考えています。

世界の政治・経済も日本の政治・経済社会も7月の参議院選挙後一層大きな変化が予想されます。新しい成長戦略がいよいよ必要となります。

22年度は、S A ネットにとって設立5周年を締めくくる大事な節目の年になります。理事を始め会員の皆様には、健康に十分留意され諸行事に積極参加頂きS A ネットの発展に引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

◆ ◆ 第 4 期 事 業 報 告 ◆ ◆

5月29日午後1時半より、大阪市中央区「大阪府社会福祉会館」にて、第4期定時総会がご来賓にNPO法人大阪府高齢者大学校 長井美知夫理事長のご出席を頂き開催されました。総会議長には理事の大川正彦氏が選出されて、下記の如く「第4期事業報告」と「第5期事業計画」の報告がありました。

第4期事業報告について、次の如くに報告され承認されました。

1. 事業概要報告（事業期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日）

【報告：理事長 永田 得祐】

①「魅力あるイベント」の開催を通じて会員を増やすことに努めましたが、残念ながら目標を達成出来ず。今後の課題。



② 広報活動の強化。

- ・ 広報誌「SAネット大阪ニュース」の発行。
第5号21年6月、第6号21年11月、第7号22年2月に発行。
- ・ HPで人材募集広告実施したが効果なし、次期へ課題を持ち越す。

③ 大阪府高齢者大学校の講座運営と諸行事への参加協力。

- ・ 西川副理事長が21年定時総会で理事に就任、事務局次長として活動。
- ・ 永田・三田・武内が3教科の担当理事として講座運営に参加。
- ・ 労金寄付講座等のイベント行事に参加協力。

④ アクティブシニア機構行事に参加協力。

- ・ 「アクティブシニアフェア2009」の企画と実施に参加協力。
- ・ アクティブシニア出前講座実施。22年3月八尾市高齢クラブとの共催。

2. 事業部活動報告

1) 大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業部

【報告：理事 石井 定雄 事業部長】

大阪府立介護情報・研修センター（大阪府茨木市大住町）（以下「当センター」という）で福祉用具説明サポート事業を財団法人大阪府地域福祉推進財団から平成17年6月より受託していましたが、平成21年3月31日で大阪府からの指定管理者運営管理の覚書き締結が解除されました。



平成22年4月1日より、大阪府福祉部地域福祉推進室直轄となり、NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪は、当センターと福祉用具の普及推進等に関する委託契約を締結しました。

平成21年10月31日（土）アクティブシニアフェア2009に福祉用具説明員サポート事業部は出展参加しました。出展物は、当センターでの展示品でアザラシ型ロボット「パロ」を出展、パロ

は、秋田県の介護老人保健施設でテストをされた経緯では、パロと触れ合ったお年寄りの方々のストレスが減少することが判明し、ホルモンの判定でも効果が確認されました。

当センターが毎年開催する「福祉用具特別展」平成21年度は、11月7日（土）に開催された。テーマ『明日への介護・みんなの介護』にシルバーアドバイザー・ネット大阪は協力団体として参加した。福祉用具説明員サポート事業部は、靴下ハギレのリサイクル、健康のための楽しいゆび編み靴下ハギレで草履を編む実演をした。参加者からは、カラフルな草履の出来上がりで好評でした。

シルバーアドバイザー・ネット大阪 福祉用具説明員サポート事業部は「家庭の介護講座」で自助具の活用事例として、『片手で編める編み機の体験』講座を開催した。講座実施日：平成21年12月2日 参加者は、デイサービスで従事されておられます職員の方々でした。『片手で編める編み機の体験』講座は好評でした。

社会企業家フォーラム in 大阪に出展参加する。

主催は、社会起業家フォーラム in 大阪実行委員会 開催日平成21年11月24日
(場所：大阪府社会福祉会館)

団体見学対応実績（平成21年4月1日～平成22年3月31日）合計56団体

大阪府下社会福祉協議会	4	大学（専門福祉課程）	6
他府県社会福祉協議会	2	福祉介護専門学校	12
大阪府下地域福祉委員会	4	大阪府下高等学校	5
他府県地域福祉委員会	2	他府県高等学校	2
大阪府下民生児童委員会	6	ボランティアグループ	4
他府県民生児童委員会	4	一般企業（社員教育）	7

2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部

【報告：副理事長 三田 進一 事業部長】

前期も大阪府下の各団体・施設等の主催するイベントに「日本の伝承おもちゃづくり」手法を通じて、子どもたちや若い親たちと三世代交流を深めることができた。



引き続き大阪府福祉基金の助成金を受けることができ、従来の派遣依頼によるイベント参加や教室開催と共に、地域のスポーツ交流会の関連イベントにも参加、口コミによる底辺拡大を図り効果があった。

また、昨年度開校した「大阪府高齢者大学校」の関連イベントで、「ろうきん祭り」や、「大阪市職員すこやか健康ジョギング大会」では、高齢者大学校傘下の協力団体として“高大の受講生”と共に参加、市民との交流と共に受講生との技術や情報の共有を図った。

更に10月31日の大阪府主催「アクティブシニアフェア2009」では、おもちゃ展示だけでなく実演も行い、来場者や出店グループとの交流が図れた。

なお、前期はイベント内容によって「おもしろ算数教室」との併催を行い、来場者に初歩的な出題により、「算数好き」になるきっかけづくりの機会を作ったり好評だった。

通期開催 10日 延13回 SA参加者数 延181名、来場者数 1379名

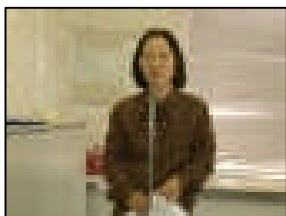
3) おもしろ算数教室事業部

【報告：理事 二葉 登代子 事業部長】

この教室の活動の狙いは、算数マジックの謎解き・算数パズルを解く・百升計算等を通して、楽しみながら次のことを目指している。

- ① 小学生を対象としては、論理的思考力、根気よく物事に取り組む力や、基礎計算力を身につけること。
- ② 高齢者を対象としては、脳の活性化を図ること。

以上を目指して、講座を実施している。この講座を受講し、見違えるように明るい表情に変わり、更に意欲的に取り組まれるようになった方もおられる。更に、「サポーター養成講座」を開講し、受講者の減少の中、サポーターが3名誕生した。



サポーター会を開催し、初めて実施する大阪府高齢者大学校の講座に向け、実施準備に当たり、スムーズに実施、受講者から好評を得た。

また、出前教室の新たな取り組みとして、大阪府より「未来の人材育成事業」の受託事業（株）インテリジェンスによる小学校への出前授業を実施し、高い評価を受けた。

更に、アクティブシニア機構の出前講座も実施した。

以下に、詳細を記す。

{講座} 開催場所：大阪ボランティア協会 会議室において

- ① 「おもしろ算数教室」初・中・上級コースを実施：受講者総数：23名
21年：4月,9月,10月,11月、22年2月,3月の第2・第4金曜日に実施
(ただし、9月,10月,11月の初級は実施できなかった)
- ② 「サポーター養成講座」を5月と12月に実施：受講者総数：4名

{出前教室}

- ① 柏原市の「物忘れ予防講座」として、毎月1回程度：高齢者向けに実施
- ② 交野市の「サロン街かど」にて、1回：小学生に実施
- ③ 大阪府高齢者大学校の講座を、2回：実施
- ④ 守口市等の地域包括支援センターにて、1回：高齢者向けに実施
- ⑤ インテリジェンスによる「未来の人材育成事業」として、3小学校と1施設で実施
- ⑥ アクティブシニア機構の出前講座として、八尾市にて実施
- ⑦ 柏原市の老人福祉施設センターにて、高齢者向けに実施

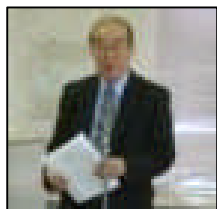
{パズル体験}

- ① 茨木市における福祉用具特別展にて実施
- ② 四天王寺の古本市にて、2回実施
- ③ ぷらら天満にて、2回実施

4) 国際交流事業部

【報告：理事 出口 恭一 事業部長】

前期は前々期の3月22日に第7回国際交流サロンとして英語落語のイベントを実施し、大変、好評を得て成功裏に終わりました。その後、前期に入りまして、どうしてもイベントの案内チラシの作成から集客のためのワークには最低2ヶ月間を必要と致します。そのため、5月末日に第8回国際交流サロンを開催する順序立てになりますが、6



月には第13回USJパーフォーマーによる港区の11の小学校を対象にした「英語で遊ぼう」のイベントが確定しておりましたために、5月の第8回国際交流サロンは準備不十分で9月に実施する事に致しておりました。ところが種々の事情が重なり、残念ながら、延び延びになり、やっと11月28日に第8回国際交流サロンを開催するに至りました。

この第8回は、吹田市のボランティアグループの皆さんが、大阪大学の留学生と御一緒に吹田市の小学校の生徒との国際交流をされている実態を御報告いただきました。その後、留学生と共にグループに分かれ、それぞれのグループ毎に留学生に対する質疑応答が楽しく実施されました。

また、11月から12月にかけて第14回USJパーフォーマーによる「英語で遊ぼう」を実施しました。残念ながら昨年度の冬は御承知の通り新型インフルエンザの流行によりまして、前回（第13回）には34名の参加者がありましたが、約半数の参加者となりました。

更に期末に第9回国際交流サロンを「世界を・日本を自転車で走破」というテーマでシルバーアドバイザー養成講座の国際交流専攻コース14期修了生の檜崎順章氏の講演を予定しておりましたが、今回も避け難い諸般の事情から中止となりました。その結果、第9回は本日の総会終了後に実施となりました。

以上の結果から、残念ながら、第4期国際交流事業部は創部以来始めて赤字4,371円となりました。

◆ ◆ 第4期収支決算報告と監査報告 ◆ ◆

第4期収支決算報告は、大武佐世子会計担当より報告され、監査報告は、和佐義顯監事より報告されました。この報告の採決に入り異議なく承認された。（決算報告：HP参照）

◆ ◆ 第5期新役員を選出 ◆ ◆

第5期の新役員選出については、永田理事長より「企画部門」の強化を図るために新理事として「奥谷英夫」氏の提案があった。この提案の採決に入り異議なく承認された。

◆ ◆ 第 5 期 事 業 計 画 ◆ ◆

第5期事業計画について、次の如くに計画が説明されて承認されました。

1. 事業の実施方針（事業期間：平成22年4月1日～平成23年3月31日）

【報告：理事長 永田 得祐】

- ① 企画力を高め、「魅力あるイベント」開催を通じて人材と会員の増加を図る。
- ② 大阪アクティブシニア協会への参画と事業の協働
 - ・アクティブシニア出前講座の共催
 - ・シニアスタンバイ事業の共催
- ③ 大阪府高齢者大学校講座運営とイベント行事への参加協力
- ④ 広報活動の強化。
 - ・HP・広報誌 事業結果報告に加えてイベント計画の案内に重点を置く。

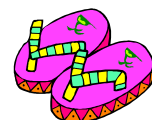
2. 事業の実施に関する事項

1) 大阪府立介護情報・研修センター 福祉用具説明員サポート事業部

【報告：理事 石井 定雄 事業部長】

平成21年4月1日より、大阪府福祉部地域福祉推進室直轄となりましたので、大阪府立介護情報・研修センターと特定非営利活動法人シルバーアドバイザー・ネット大阪は、当センターでの福祉用具の普及推進等に関する委託契約および仕様細則について22年度も委託契約を直に締結いたします。

大阪府立介護情報・研修センターの福祉用具説明員は、地域の校区福祉委員会および民生委員・児童委員会等、大阪府下の福祉介護に従事する各種団体並びに企業に当センターを紹介する。



府内に在住または、通勤・通学者・デイサービス従事者に家庭介護ゆび編みおよび片手編み機講座を開催する。

2) 伝承おもちゃづくり府民塾事業部



【報告：副理事長 三田 進一 事業部長】

世代間交流のツールとして日本の伝承おもちゃづくりの手法を一緒に学びながら楽しむ一年にしたい。

今期も大阪府福祉基金の助成を得て（現在申請中）、「おもちゃづくり府民塾」を開催する。高齢者と親子と一緒に参加して、共同作業として「自分たちだけのおもちゃ」をつくり、親や高齢者と楽しく遊ぶことにより、親子の「絆」や、「ふれあい」を深めるとともに、子どもたち的高齢者に対する「敬い」や、「思いやり」という気持ちをはぐくむ。

また今期は、「おもしろ算数教室事業」「国際交流事業」とも連携して開催し、論理的な思考力を身につけ、異文化に触れ幅広い視野を持つことを目指す。

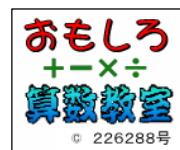
- ・実施予定回数 通期 13回 延 17日
- ・実施計画 大阪府下の各自治体の関連団体、自治会、商店街、各種団体等主催の講座・

研修会に講座派遣。自主事業（講座、イベント等の開催）の実施。

3) おもしろ算数教室事業部

【報告：理事 二葉 登代子 事業部長】

この教室では、算数マジック・算数パズル・百升計算等を通し、楽しみながら、小学生には、論理的思考力・考える力、根気よく物事に取り組む力をつける。



高齢者には、脳の活性化を図ることを目指して活動している。しかし、講座の受講者が、年々減少の一途である。アピールの方法を工夫する努力をより一層重ねたいと考えている。

一方、出前教室の依頼は、増えていて、準備が間に合わないので、お断りしているのが現状である。そこで、パズルの基礎編の更なる充実を目指し、出前教室の充実を図りたい。そこで、サポーター会の運営を、より充実したものにしていきたいものである。その工夫の一環として、

- ① サポーター会を、次回の会合を楽しみに出来る会にする。
- ② サポーターの皆で、新しいパズルを作成したり、提案したりする機会を持つ。
- ③ サポーター会で、パズルを解くことや、開発中のパズルの点検を皆でする。
- ④ おもしろ算数パズル塾を実施できる機会を、皆で探る。

(*)ご案内の「第11回 おもしろ算数教室(初級)」は、中止します。

4) 国際交流事業部



【報告：理事 出口 恭一 事業部長】

毎月、実施しております事業部の役員会（運営委員会）におきまして新年度の事業計画ならびに予算案を策定いたしました。

予算は、第4期の予算案をそのまま新年度計画といたしました。

また、本年度の事業案も各運営委員より斬新なアイデアを含め下記の事業を計画することになりました。

- (1) 第15回と第16回のUSJパーフォーマーによる「英語で遊ぼう」を従来通り実施。
- (2) 3ヶ月に一度、年間4回の国際交流サロンを実施する。この4回のテーマは；
 - ① アジアの国々（例：インド・インドネシア・タイ・フィリピン・ベトナム）の紹介。
 - ② 出入国管理に関しての、あまり一般的に知られていない種々の問題点等の講演をいただく。
 - ③ 英語落語が好評であった事から再度、実施する。
 - ④ SA15期の有志で過去7年間に70回の集いを持ち、日本研究、異文化体験、読んだ本の感想、等を纏められている。それらを講演いただく。

上記の事業案の中から順次、具体化出来る案件から実施して行く計画で、特に、上記①と②については、大阪アクティブシニア協会にて計画されている「出前講座」とタイアップして実施する予定。

また、上記に加えて、伝承おもちゃづくり事業部の協力を得て、留学生予備校の「エール学園」で留学生達に日本固有のおもちゃ作りを教える事、および上記(1)の子供達に付き添う親達にもおもちゃ作りを教える計画をしている。

◆ ◆ 第5期収支予算 ◆ ◆

第5期収支予算は、西川龍夫 新会計担当より報告されました。
この報告の採決に入り、異議なく承認されました。(第5期収支予算:HP参照)

◆ ◆ 記念講演会「第9回国際交流サロン」 ◆ ◆

—世界を・日本を自転車で走破!!—

第4期定時総会の終了後、引続きまして記念講演会「第9回国際交流サロン」が午後3時より同会場で開催されました。



講師は、檜崎順章氏(SA14期国際交流修了者)で、
演題は「私の世界自転車旅行談」。

韓国、中国シルクロード4,000キロ、中国全土15,000
キロ、キリマンジャロ、カラコルム、モンブラン、宮古島
トライアスロン等について、パワーポイントで多くの写真
による訪問先の紹介がありました。

正に「鉄人」のお話に圧倒される1時間半のお話でした。

HPにも講演会の「報告」を掲載していますので、是非ご覧ください。

◆ ◆ 新規人材募集中 ◆ ◆

本年度より、「企画部」を新設いたします。新規事業の企画・開発に従事して頂ける「新規人材」を大募集中です。NPOで新しい活動に挑戦してみませんか!!
積極的なご応募をお待ち申し上げます。

ご連絡先窓口 **E-mail : 2006.09@sanetosaka.jp**

◆ ◆ ホームページについて ◆ ◆

HP「会員広場」に会員の皆様の「活動報告」の投稿、又「イベント」情報連絡用としてのHPのご活用をお待ちしていますので、広報部までご連絡ください。

ホームページ URL : <http://sanetosaka.hp.infoseek.co.jp>

ご投稿先窓口 **E-mail : 2006.09@sanetosaka.jp**

【編集後記】

SA・ネット大阪ニュース「第8号」は、「総会特集号」の内容でお届けいたしました。会員の皆様より、本紙への積極的な「投稿」を心からお待ち申し上げます。次号は前期事業の中間報告の内容で、10月中旬に発行の予定です。(広報部:T.N)